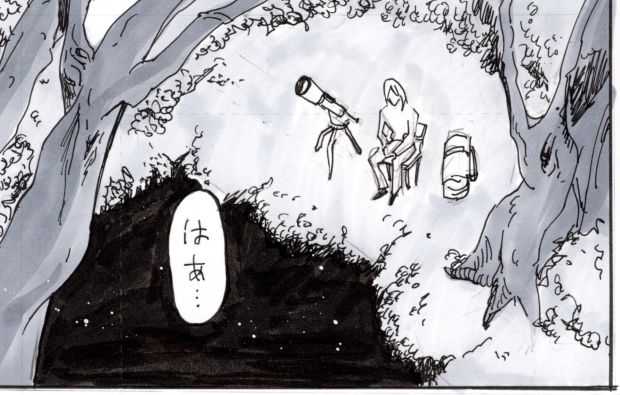
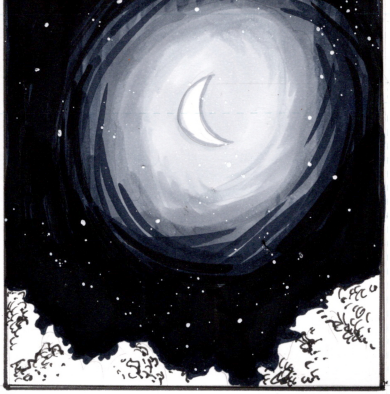
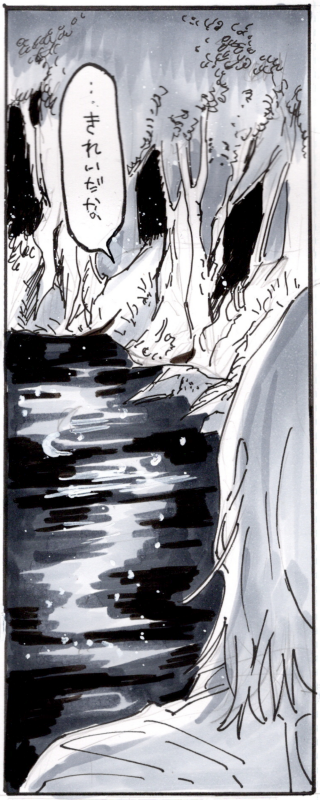

地球の中に
外界星


地球の中に
外界星


はぁ…




…きれいだな。

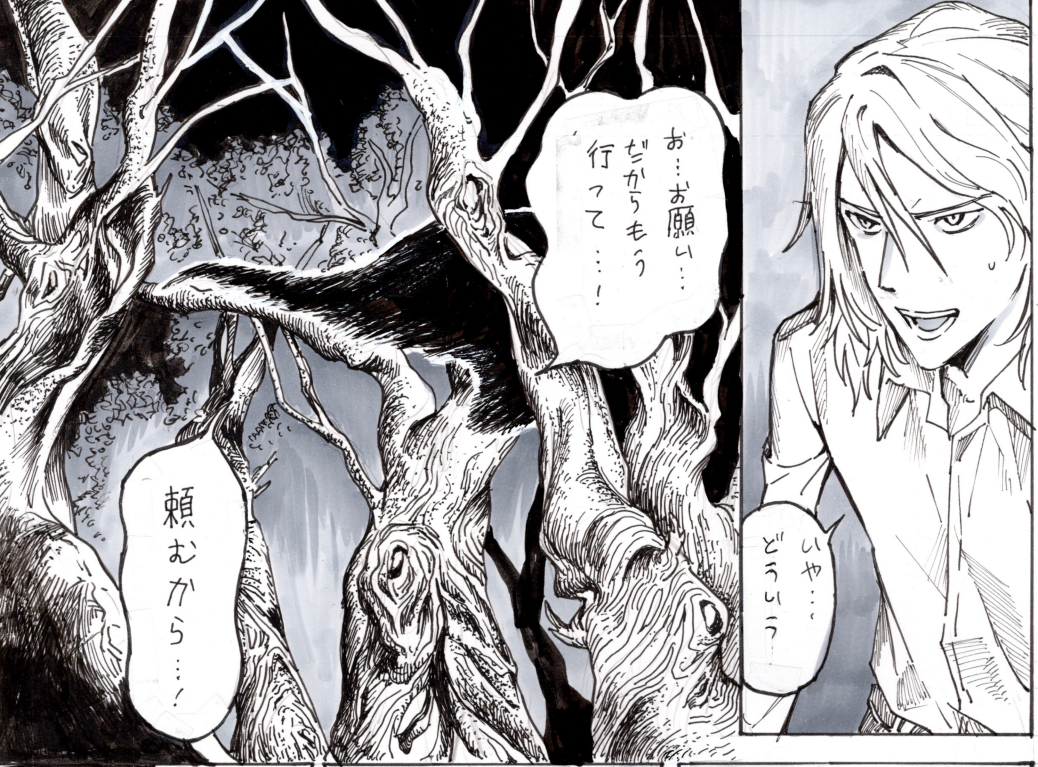



全力で あそこへ
飛び込めば
宇宙に
行けるのかな？


宇宙って そんなに
良いところじゃないよ


水星…
金星…
どこでも
いいから…


い
今
なんて…？
宇宙
僕が少しの間いた
ことがあるけど
とても
いられたもんじゃ
ないよ
ああ そうだ
話しかけちゃ
いけなかったんだ
人間は
久しぶりで
つい…
四方が
真っ暗なのに
ちょっと…
君だれ？
どこに
いるの…？
ごめん
それは
教えられないんだ
できれば今のは
聞かなかったことに
してくれない？


いや…
どういう
お…お願い…
だからもう
行って…！
頼むから…！


はぁ


あっそ！
僕だって別に
気にならないよ！


見ず知らずの
お節介焼きの
ことなんてさ！


もういらない！
僕は地球を
去るんだ！
宇宙に行くん
だから!!

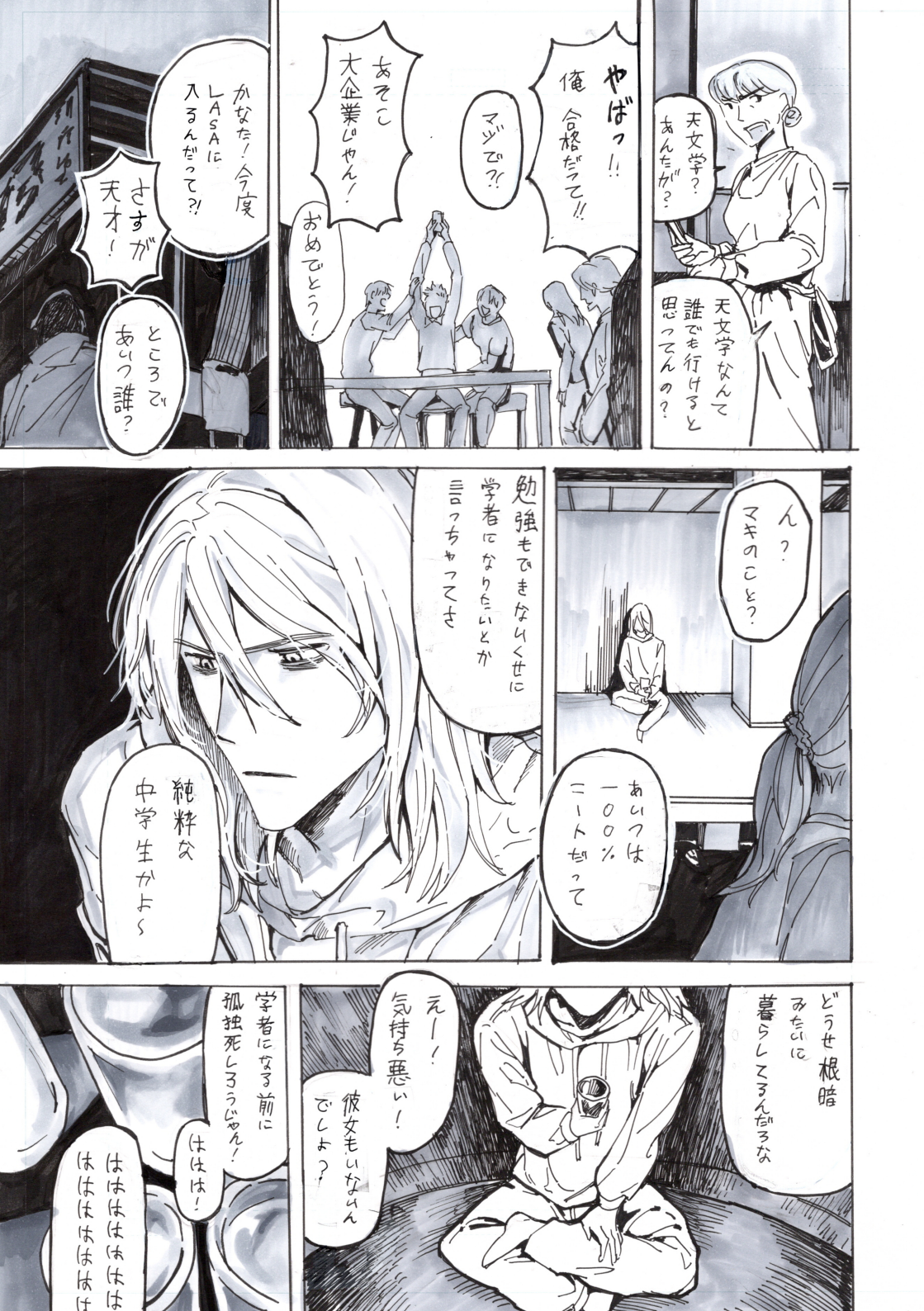

ちょと
ツコバッ


ま…
まって

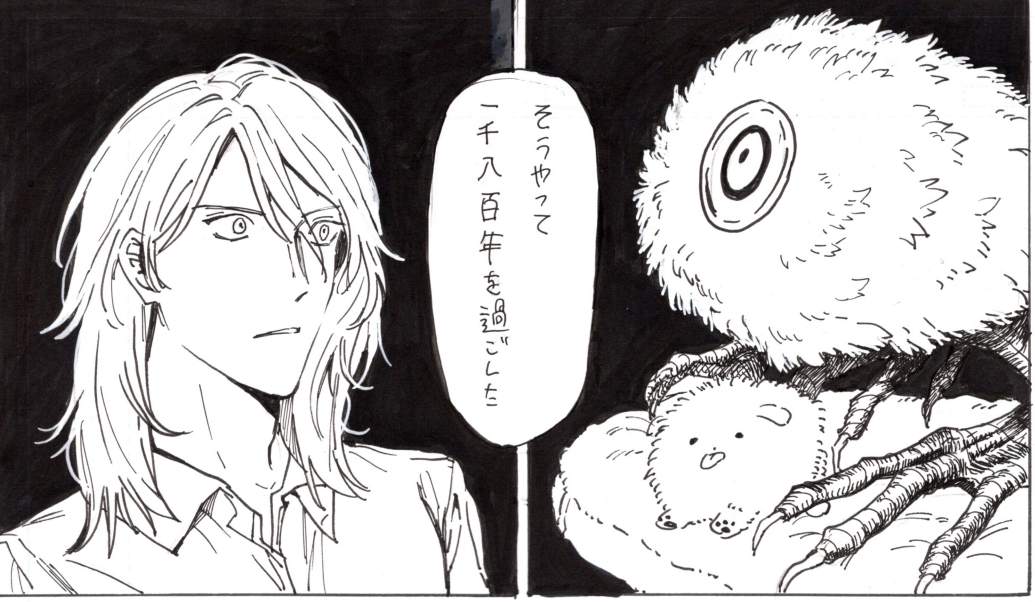

…で
地球から
追い出されてって
いったい
どういうこと?!
わぁ
モフ
モフ
これすごく
柔らかい〜
わん
わん
説明!!
あ
そうだ
それは、
ある日の夜のこと
だった…

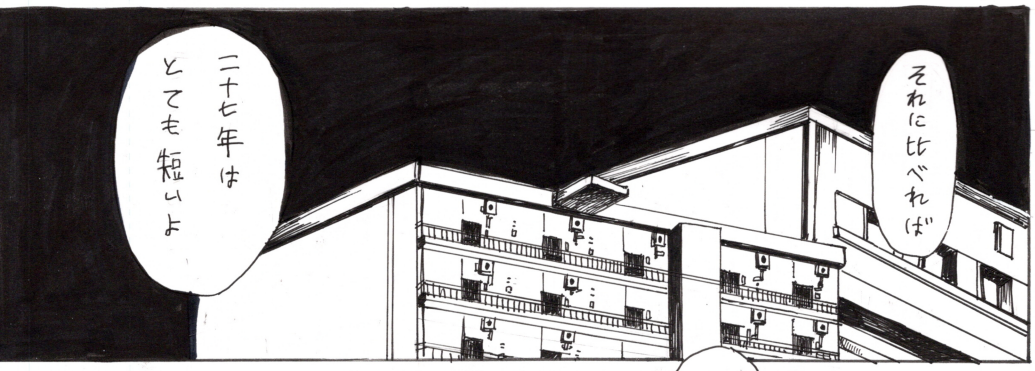

あれ？
なんだよ～
空っぽの惑星かと思ったのにー！
えっ…
もしかして同族…？
へえ～！
まさかこんな辺境の惑星で同族に会えるなんて!!
ねえアニキ！
ここでどれくらいいたんですか？
千八百年…
ヤバッ～！
そんなに長くいたら惑星を去らなきゃいけないなんて
想像しただけで悲しすぎるっす～
え…？去るって？
忘れたんですか？

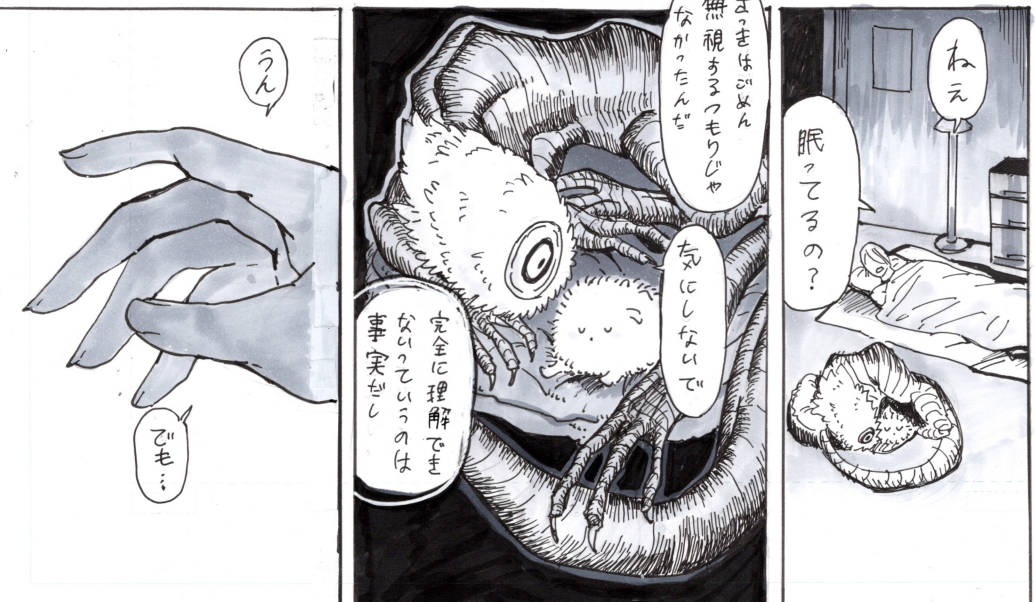

「1つの惑星には
一つの同族だけ」
「もともと
居住していた方が
去ること」の
絶対ルール！
そういうわけで、
追い出された
ばかりだった
まだ次の惑星を
決めてないのに…
ん？
何？どうした？
いや…
宇宙に旅立てる
羨ましすぎて…!!
人間だって
できるだろう？
それはごく
「握りの人間
だけだよ！
天才の中の
天才だけが資格を
持ってるんだ！
ふーん…
じゃあ君には
次貝格がないの？
資格…？


天文学？
あんたが？
天文学なんて
誰でも行けると
思ってんの？
やばっ!!
俺 合格だって!!
マジで?!
あそこ
大企業じゃん！
おめでとう！
かなた！今度
LASAに
入るんだって?!
さすが
天才！
ところで
あいつ誰？
ん？
マキのこと？
あいつは
100%
ニートだって
勉強もできなくせに
学者になりたいとか
言っちゃってさ
純粋な
中学生かよ～
どうせ根暗
みたいに
暮らしてるんだろな
えー！
気持ち悪い！
彼女もいないん
でしょ？
学者になる前に
孤独死しそうじゃん！
ははは！
ははははははは
ははははははは


う
うっ
ムっそ…!
そうだ!
僕は資格なんてない
ゴミだ!!
27歳で友達も
いなくて
お金もない!
どうせ宇宙人は
理解できないだろ!!
できるよ
は?
洞窟の中で
ずっと閉じこもっていたいんだろ
深い洞窟の中で
眠っていると
時間が過ぎるのも
分からなくなる
寂しいのは
怖い
でも
外に出るのが
もっと怖くて…
眠っては目が覚めて
眠っては目が覚めて…


そうやって
一千八百年を過ごした


それに比べれば
二十七年は
とても短いよ


ねえ
眠ってるの？
さっきはごめん
無視するつもりじゃ
なかったんだ
気にしないで
完全に理解できない
っていうのは
事実だし
でも…
うん

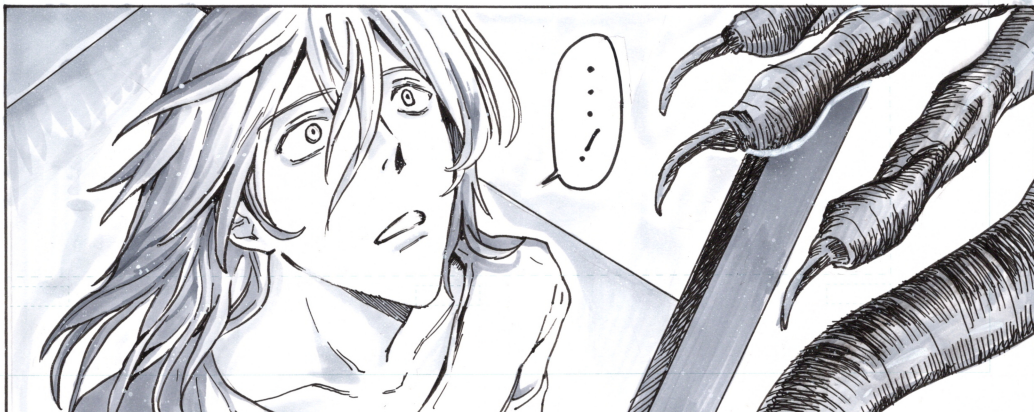

なんか
似ているな
僕たち
え？
モフ
今
何してるの？
モフ
ははは
やっぱりモフモフだ～
…ねぇ
君はどうして
宇宙が
好きなの？
知らないことだらけじゃん
こわくない？
うーん
確かに
でも
だから好き
誰も僕を知らない
場所へ旅してるって
ことでしょ？
それに
宇宙は無限だから
きれいな惑星や
未発見の
ブラックホールとか…

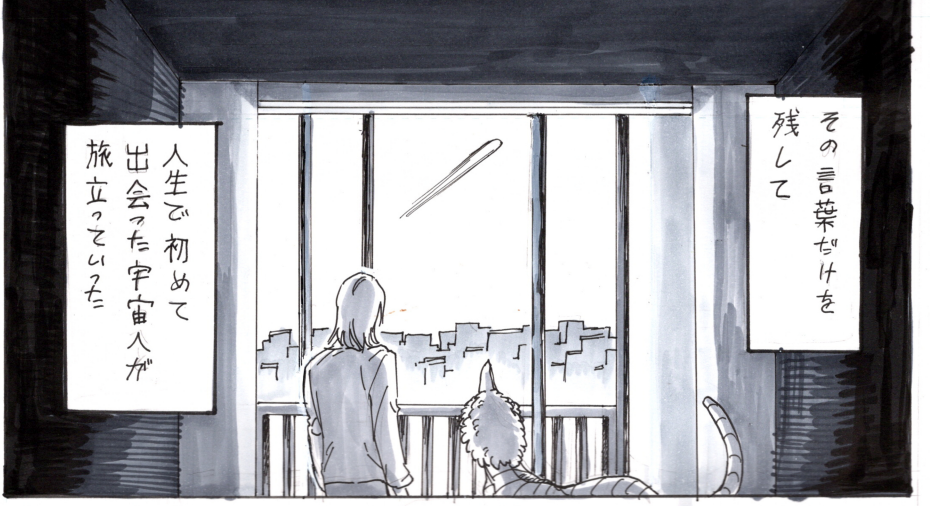

運悪く僕みたいな
人間に会うことも
あるかもしれないし？
なんかすごく
ワクワクしない？
あぁ
ちはは
だけどまぁ
ニートにこんなこと
言われてもね〜
何かを愛する
存在って
美しいんだな
人間…
真希(まき)も
マキ
なに？
ありがとう

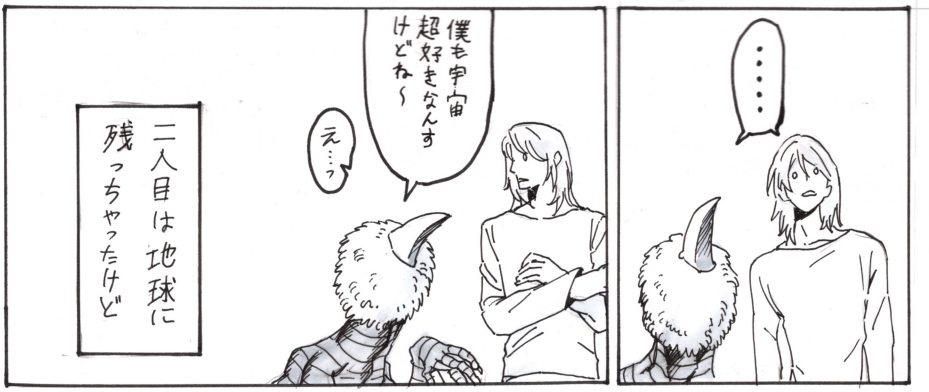

ラ…
おっ
すぐ目え覚ましたんすね～
うっ
うわあああ!!!
おはようす～
お前…?!
何何?! なんで姿が変わってんだよ?!
あ…来たんだ
アニキ!
僕を迎えに来ると思ってたよ
僕が早く出てかなきゃいけないんだよね?
はーい!
お願いしやっーす!
・・・・・
あれれ?
まさかできないんすか?

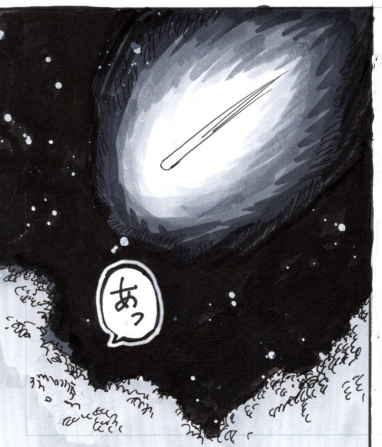

超～ヘタレじゃないっすか！
同族たちが恥ずかしがりまちよ！
おい！
いや
行くよ
へえ～マジっすか？
お前…！
マキが羨ましくなったんだ
僕もマキのように好きなものを見つけて
美しくなりたくなった
よしマキ
これは挑戦状だ！

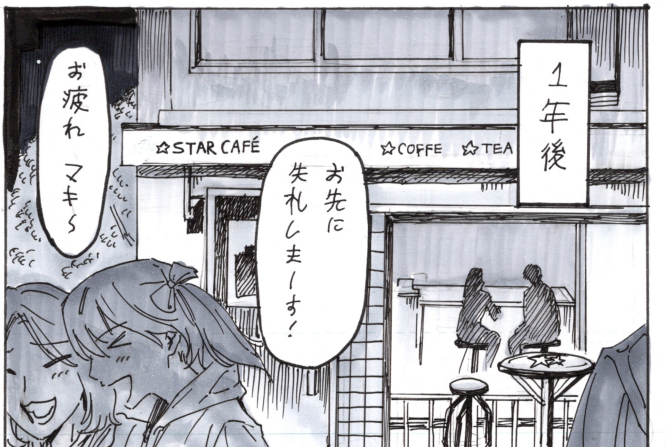

絶対に君の「宇宙」より
もっと美しい「宇宙」を
見つけてみせる!!
だから君も
絶対絶対絶対
あきらめちゃダメ!!


・・・!

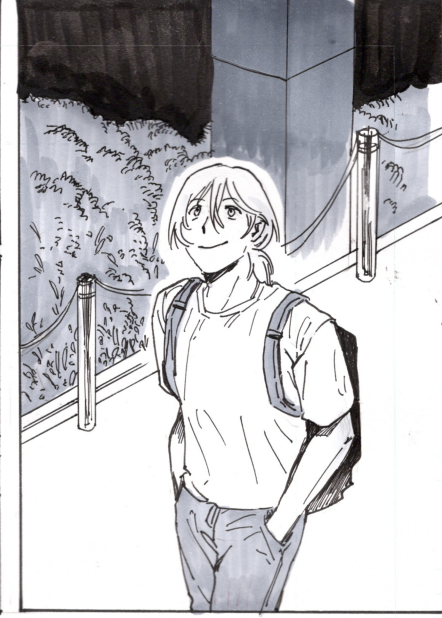

その言葉だけを残して
人生で初めて出会った宇宙人が旅立っていった

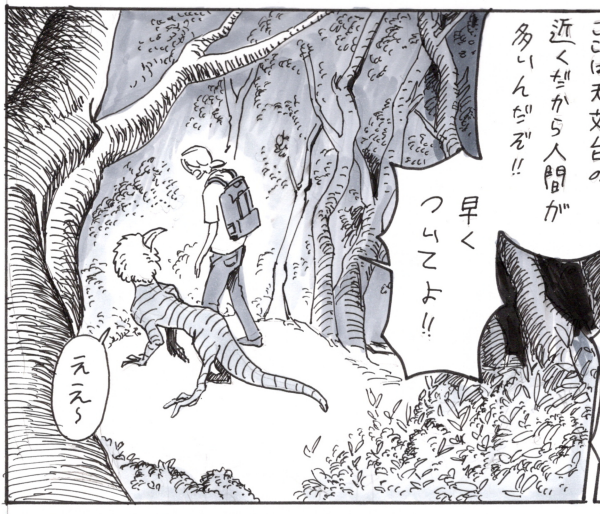

……
僕も宇宙超好きなんすけどね～
え…？
二人目は地球に残っちゃったけど


あっ

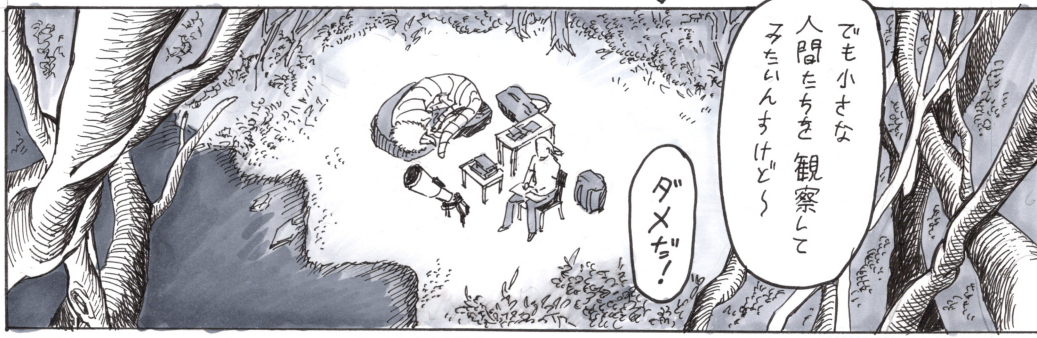

1年後
☆STAR CAFÉ
☆COFFE ☆TEA
お先に失礼しまーす！
お疲れ マキ～


アニキ!!
ん?
お仕事
終わったんすか?




ここは天文台の
近くだから人間が
多いんだぞ!!
早く
つれてよ!!
ええ~


えっ!!
お前 ここで
何してんだ?!


でも小さな
人間たちを 観察して
みたいんすけど~
ダメだ!


28歳
お金もなくて
友達もなくて
学者にもなれなかったけど
恐れ知らずの
宇宙人から挑戦状を
叩きつけられたし
相変わらず
宇宙が好だ
きれいだな…